

ニチレイフーズ

食の"安全・安心"を追求して。

ニチレイフーズは、「7つの価値」*を提供して、もう一人の家族であるお客様の健康で豊かな食生活作りに貢献します。これを経営理念としています。特に昨今、食の基本価値である安全・安心に対する関心が高まる中、2005年度は関係部署の品質活動の連携を進める品質保証体制の整備や、外部監査の活用などに取り組みました。

また当社は、2006年4月より生産子会社ニチレイフーズ・プロと合併し、メーカー機能を強化しました。これにより連携が再強化されて品質保証体制がより効果的に機能するようになり、品質課題の抽出・改善手法の工場への展開や優れた品質活動の共有化などもより確実に実施できるようになりました。

今後も、お客様の視点に立った丁寧なモノ作りを通じて、健康で豊かな食生活作りに貢献し、企業価値を高めるとともに、ニチレイグループ「6つの責任」を具体的行動として実践していきます。

※7つの価値
 「おいしさ」「安全・安心」:食品の前提となる基本価値
 「楽しさ」「健康」「使いやすさ」:豊かさを提供する基本価値
 「安定供給」「適切な価格」:使い続けていただくための基本価値

お取引先・協力会社とともに

品質保証レベルの向上に取り組んでいます。

品質保証体制の充実

「安全・安心」な加工食品をお届けするために、外部監査を通じて品質保証レベルの向上を図るとともに、品質保証体制の強化・拡大に努めています。

新体制移行に伴い品質保証体制を強化

ニチレイフーズでは、2005年4月の分社化に伴い、従来生産技術部内にあった品質保証グループを品質保証部として独立し、その責任権限を強化しました。さらに品質保証レベルの向上には、品質保証部のみならず、「開発」「生産」「物流」「営業」「管理」の各部門がそれぞれの責任を果たすとともに十分な連携を取ることが重要であるため、これら関係部門の連携の場として「ニチレイフーズ品質保証委員会」を立ち上げました。

2005年度はこうした体制のもと、重点施策として、2004年に実施したSOQ (Signature of Quality) 会議*で培ってきた改善課題の抽出手法の普及や新たな外部監査の導入などを進めました。

※SOQ (Signature of Quality) 会議
 (事業会社) 社長、社外取締役と社内横断的に各部門の代表者が参加し、過去の品質トラブルを題材に十分に時間をかけて真の原因をさぐり、是正に結びつく改善課題を抽出する会議。このような過程で抽出された課題は、参加メンバーが自らの業務課題として当事者意識を持って取り組んでいる

VOICE

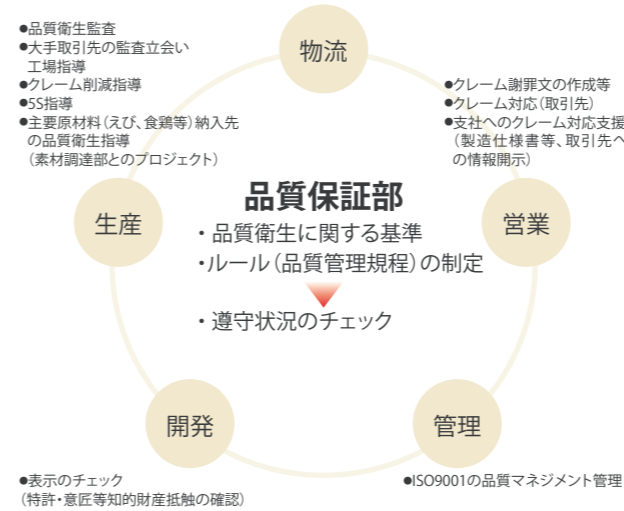
これまで、お客様のニーズを客観的に分析し、日々品質保証レベルの向上に努めてきましたが、外部監査の導入によって、新たな監査の視点を取り入れられました。今後もこれまで以上にお客様目線とグローバルスタンダードを意識した品質保証体制の構築をめざしていきます。



株式会社ニチレイフーズ 品質保証部 品質保証グループ グループリーダー 進藤 博且



各部門に対する品質保証部の業務



外部監査を取り入れ、品質保証レベルの向上を推進

生産工場の品質向上に対する主要な方法として工場監査での指摘とその改善がありますが、2005年度は社外が行う外部監査を活用しました。

生産工場へのお取引先様からの監査に、品質保証部が事前指導、監査立ち会い、フォローアップを行いました。これにより、従来にも増してお取引先様、生産工場、品質保証部のコミュニケーションが充実し、設備に対する考え方など、お取引先様からの貴重な意見を効果的に工場管理に取り入れることができました。2005年度は延べ15取引先・29工場に対しての監査に対応しています。

また、グローバルスタンダードの視点から生産工場の品質管理レベルを向上させるため、2つの生産工場で第三者機関AIB*による監査を実施しました。AIBは独自に定めた食品安全統合基準に基づいて食品工場の安全衛生レベルを監査・指導する国際機関で、監査の80%を生産現場の管

VOICE

5S講座に参加し、実際に生産現場を回りながら、パトロール時の視点や万が一の時の危害の大きさなどについて講習を受け、改めて内部監査と対策のフォローアップの重要性を実感しました。この講座で学んだことをパトロールや従業員教育に活かし、今後も「安全・安心」な商品の提供に努めていきます。



株式会社ニチレイメンテック 船橋事業所 管理グループ 課長 椎名 真弓

理状態の確認に置く点の特徴です。監査結果は合格レベルであったものの、5S*の管理手法について学ぶべき点があったため、生産現場に対し5S講座を開催して(生産工場製造部員を対象に2回、品質保証部員を対象に1回)、外部監査基準の共有化と5S強化に取り組ましました。



5S講座の開催シーン

※AIB (米国製パン研究所)
 製粉技術者育成のために設立された機関で、2001年度時点で世界78カ国、米国において年間11,000食品工場(製パン工場は10%)の監査を実施している
 ※5S
 あらゆる職場における基本の活動である整理、整頓、清潔、清掃、しつけの頭文字を取ったもの

生産委託会社へSOQ会議の手法を拡大

ニチレイフーズでは本社で行われたSOQ会議の手法を活かして、生産工場においても品質保証レベルを向上していくために、自営・投資生産会社の9工場でSOQ会議を開催しました。本社での取り組みと同様に、過去に発生した品質衛生トラブル・事故を題材とし、その原因を掘り下げ、品質保証における課題の抽出を行いました。抽出した課題は各工場の改善実行計画として、責任者、活動内容および期間を設定して実行することで、品質保証体制の強化、再発防止に繋がっています。2006年度には主要生産委託会社6社へも範囲を拡大して、SOQ会議の取り組みを進めていきます。

TOPICS

「ベストクオリティ賞」の設立。

ニチレイフーズは「生産工場の品質向上に関する活動に対する褒賞制度」として「ベストクオリティ賞」を設立しました。2005年度は第1回として自営工場における活動を審査し、選定しました。今後も毎年、工場の優れた品質活動の表彰、共有化を進めます。

最優秀賞
 ●工場名 (株)ニチレイフーズ 長崎工場
 ●テーマ 生産ライン移設時の、製品品質に関する部門連携
 ●選考理由 PDCAで活動を管理する進捗管理表などにより、計画通りの移設と製品品質を達成し、今後のモデルケースとなる手法を確立した。



授賞式シーン